

学校評価報告書

学校名 深谷市立八基小学校

1 学校評価のねらい（学校としての受け止め）

本校の教育活動その他の学校運営について、その達成状況を整理して取組の適切さを検証することにより、今後の組織的・継続的な改善を図る。また、学校運営協議会委員や保護者等から教育活動その他の学校運営に対する理解と参画を得て、信頼される学校づくりを進める。

2 評価の方法（自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等）

- (1) 学校関係者（学校運営協議会委員）から教育活動その他の学校運営に対して年1回評価を実施する。
 - ①教育活動の状況や学校からの情報提供に関する評価。
 - ②教育環境の状況に関する評価。
- (2) 全児童から学校教育目標への具体的な取組（22の取組）について年3回、自己評価する。
- (3) 全保護者から教育活動その他の学校運営に対して年1回、評価を実施する。
 - ①教育活動の状況や学校からの情報提供、家庭との連携に関する評価。
 - ②家庭環境の状況に関する評価。
- (4) 全教職員から教育活動その他の学校運営に対して年1回評価を実施する。
 - ①教育課程の編制・実施に関する評価。
 - ②教育課程の編制と実施を支える条件。

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

- ・学校運営協議会委員への調査では、全ての項目が3以上であった。
- ・児童への調査では、「学校が楽しい」100%を目指したが96.7%の評価であった。全ての項目で90%以上の評価であったが、◎（よくできる）と○（できる）を比較して「自分の考えを理由をつけて発表することができる」の◎が56%、「ひざつき無言清掃ができる」の◎が73.3%であり、課題である。
- ・保護者への調査では、全20項目中16項目で90%以上の評価を得ている。特に「教育環境が安全で、校舎や花壇、校庭などが清掃、整備している」が100%であり児童が落ち着いて学習環境を評価していただいている。90%に届かなかった4項目は、「家庭で読書や家庭学習をしている」89.4%（前年度77.5%）、「家庭で6つの誓いの実践をしている」86.8%（前年度82.7%）、「家庭でも、夢を持ちまごころと思いやりのある児童の育成に努めている」88.2%（前年度88.4%）「家庭でも、安心ふっかネットを活用に努めている」89.2%（88.4%）であった。
- ・職員への調査では、44項目中38項目で90%以上の評価を得ているが、「児童は、すみずみまで無言清掃をしている」が69.2%と「ノー残業デーやふれあいデー等で勤務軽減を図っている」が73.0%の評価であり課題となった。

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

学校教育目標の具現化に向け、本校で取り組んでいる教育活動や学校運営は概ね高い評価を得られており、学習にも前向きに取り組み、児童も楽しい学校生活を送っている。

昨年度より始めた、児童に学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」の具現化に向けた22の取組についてアンケート調査の定着が見られ、22の項目中全ての項目が2回目以降の調査で○（できる）と◎（よくできる）が90%以上の評価を得た。児童にとって、具体的な内容であるので来年度も内容を改善して取り組んでいく。

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

4 次年度に向けての展望

- 「学校生活が楽しい」児童が約96.7%いるが、全児童が「楽しい」に変容するよう取り組む。次年度は100%を目指す。
- 「家庭で読書や家庭学習をしている」の保護者の評価が89.4%である。特に家庭学習については、担任が個別に丁寧な評価をするとともに、家庭学習の手引きの周知、良い内容のノートの掲示などの取組を行い、更に保護者からも高評価を得るよう啓発し連携を図っていく。次年度は、95%を目指す。
- 今年度「無言清掃の徹底」が児童、教職員からの課題となった。次年度、すみっこタイムの設定や教職員の指導の共通理解を図り、児童の「ひざつき無言清掃ができる」の◎評価を73.3%から90%に、教職員の「児童は、すみずみまで無言清掃をしている」を69.2%から100%にすることを旨とする。

来年度も、児童の学力向上、生きる力の育成に向け、全教職員で取り組んでいく。また、学校評価で課題となっている事項を踏まえ、学校運営並びに教育活動の推進を図っていく。